

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16 17 18 19	年数の経過や年齢と共に入居者のADLの低下がみられ始めている。その健康管理のために、病院受診等が必要になっている。ADLの低下を遅らせ、その残存機能の維持向上を図るためには、どのようにしていくかが課題となっている	入居者のADLの状況変化を毎日の日常生活の中から早期発見し、状況に応じた迅速な対応を、全職員が一丸となって、利用者一人一人にできるようにする	現在の入居者個々のADLの状況を的確に把握し、グループホーム内での「ケース検討会」を行いながら、年に1度、もしくは随時必要な時に、ご家族参加の「家族カンファレンス会議」を開いて課題を共有し、課題へ向けた取り組みを行っていく。	6ヶ月
2	2 3 4 5	地域密着型の「認知症高齢者グループホーム」として、地域に根差した活動を行っていくためには、どのような取り組みができるか、また活動を実践していくかが課題となっている。	地域に根差した「高齢者福祉施設」として、ボランティア活動等における来苑だけでなく、地域の小中学校の生徒との交流などや、地域の方々との交流の場になっていき、気軽に来苑してもらええるような環境にする	地域の小中学校の活動への参加、民生委員等の活動支援(高齢者)、グループホーム運営推進会議等での話題、活動として地域の方と一緒に苑内で夏祭りやもちつき大会などを実施していく中から、地域密着型施設としての方向性を見つけていく	12ヶ月
3	1314	認知症高齢者である入居者のケアを仕事として行うにあたり、介護職員の知識、行動力が重要になっているが、さらなる向上を目指した学習方法など、ケアの実践に役立てていく	認知症高齢者グループホームという実践の場で、認知症ケアに活かせるような勉強と学習をし、認知症ケアに必要な知識を身につけるようにする	認知症ケアなど各種研修会への参加と、経験豊富な職員の力を活かした「職場内研修」にて認知症高齢者への共通理解を図り、職場全体がレベルアップできるように取り組む	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。